

2016 6/14

No.2020

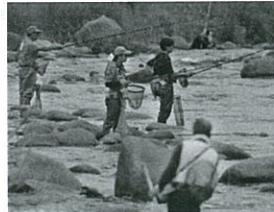
毎月第2・第4火曜日発行

# 政経 かながわ

一般社団法人  
—神奈川政経懇話会—



県内の早川、酒匂川、相模川、多摩川などで1日、アユ釣りが解禁され、早朝から待ちわびた太公望らが各河川で「初物」をつり上げていた。漁期は10月14日まで。



# 政経かながわ

2016 6/14 No.2020

## contents

視点・点描 3

地図になかった「野菜畠」

講演録 4

最近の金融経済情勢について

日銀横浜支店長 岩崎 淳

政治 8

リアリスト首相の政治算術

二つの見送り決断取扱は

経済 10

世界経済、大きなリスク直面？

安倍首相の認識検証

国際 12

緊張への懸念高まる中台関係

民進党の女性総統就任

企業最前線 14

競争激化ホームセンター

M&A活発化で再編も

くらし2016 16

変わる企業の両立支援

広告珍談 18

広告はたのしい⑯

歯がイタイよ！

NNAアジア経済リポート 19

## 事務局だより

### ◇横浜定例講演会

2016年7月13日（水）

午後1時30分～3時

崎陽軒本店5階「マンダリン」

講師はノジマ取締役兼代表執行役社長の野島廣司氏

演題は「失敗のすすめ～苦しい時こそ組織は伸びる～」

### ◇会員の動き（敬称略）

名義変更 ▽ホテルモントレ

横浜常務取締役総支配人・田

村慎造 ⇒ 取締役総支配人・

吉村大輝▽日本放送協会横浜

放送局長・大加章雅 ⇒ 局長・

小川純子▽神奈川県県土整備

局長・浅羽義里 ⇒ 局長・平

野浩一

### ◇お知らせ

神奈川新聞厚生文化事業団に

熊本地震救援金として3万

6350円を寄託しました。設立

50周年式典で会員から寄せら

れた募金とお祝い金です。

# 視点描点



## 地図になかつた「野菜畑」

4月の異動で相模原・県央地域

の担当になった。いわゆる出先は  
19年ぶり。ペーパードライバー歴  
も19年なので、自動車学校の教習  
を受けたが、今のところ移動は  
もっぱら電車とバスに頼っている。  
まったく土地勘がないまま、地  
理を覚えようと地図を片手に路線  
バスに揺られる。これが存外、楽  
しい。電車で行けるところでも、  
ともなるほどねえ。道はこうつ

時間が許せば乗つてみる。

A地点からB地点へ。単なる移  
動と考えれば最短距離を最速で進  
みたくなるが、人々の生活の足で  
ある路線バス(殊にコミュニティー  
バス)はそうはいかない。「○○  
駅行き」の表示を見て飛び乗つた  
形)は昭和40年以降に作られたと  
書いてあり、びっくりした。

ソリンスタンドが会社ごとにカラ  
フルに記されているのに感心する。  
地図記号といえば先日、「相模  
原市史ノート 創刊号」(200  
4年、相模原市市史編さん室)で  
「地図の話」と題した小文を読ん  
だ。畠の記号(二葉を模したV字  
形)は昭和40年以降に作られたと  
書約すると「明治以降の地図は

一般的に軍用。兵隊の通過に支障  
のある樹木の畠(果樹園、茶畠な  
ど)はしつかり示されたが、支障  
のない『野菜畑』『空き地』は区  
別せず、表示もされなかつた」と  
のこと。畠で育つ作物も、それを  
ちのいぎやかな集団に行き会う  
と、なんとなくうれしくなる。

車内では見るのはアナログな折り  
畳み式の都市地図。バス停が明示  
され重宝しているが、社会科で  
習った一般的な地図記号のほか、  
コンビニやファストフード店、ガ  
ソリンスタンドが会社ごとにカラ  
フルに記されているのに感心する。

相模原といえば、橋本にリニア  
中央新幹線の中間駅をつくる計画  
があり、環境破壊を心配する声も  
上がっている。リニアの駅と駅の  
間にも、人々の暮らしがあるのだ  
が、建設予定図を眺める人の目に  
それは映つているのだろうか。

(神奈川新聞社相模原県央総局長  
青木 幸恵)

## 歯がイタイよー

自慢じゃないけどボクは、パリでもニューヨークでも、お医者にかかった。気が優しくて（ウソツケ）、力持ちのボクだけど、すぐダウンする。

飛行機がないころ、何カ月もの船旅で、極東のニッポンへと。その途中で体調をくずしたり、歯が痛くなつたら、どうしたのだろう。そう思つただけで、ぞーっとする。

イタイイタイと歯医者（茅ヶ崎の宮歯科）にかけこむと、あーんしてといふ。そして上だか下だか、前だか奥だか、どつかがダメになつて、歯を入れることになる。

先生は、白や黄色など小指のツメよりもと小さい色々をいっふり張りつけたノートを持つてきたり、ボクの歯と見比べながら、なにやら助手に書かせている。それ

はボクの元気な歯の色と、これから入れる歯の色をおなじに揃えるための、歯の色見本である。

むかし、入れ歯は木製だったと何かで読んだことがある。それが焼き物の歯になつた。つまり陶磁器の入れ歯、「陶歯」という。

ボクが京都で小学校に通うころ、「松風」という優雅な名字の同級生がいた。住まいもりっぱで、いまも京都のわが家のごく近くにある。彼の家系は、入れ歯の見本帳や、入れ歯そのものを作つてゐる有名なメーカーと、大きくなつてから知つた。

なつた。

図を「覽あれ。中央の広告、「新

工夫 元祖」「和洋入歯」「金銀金具留」、下に奇妙なイラストがあつて「惣」「歯」「形」とある。なんとなく分かつたような——。

右の広告。歯をガリガリする機

械のイラスト、まだ電動ではなく足踏みのツワモノ。それだけでも、

イタソーに感じる。



左の広告。総入れ歯のイラスト。「金、銀、その他の金属ならびにゴムの充填赤ゴム入歯」とは、金属や銀歯に赤いゴム製の歯グキらしい。広告主の「雨夜」とは雅号かな。歯科手術所と、それだけでこわそー。広告はまだつづく。「歯は米国製の陶器」とある。この陶器の歯こそ、「松風」クンの家業である。

硬質磁器による人工の歯、《陶歯》の製作は日本最初の画期的なものという。太平洋戦争、金属回収でお寺の釣鐘も自転車も消耗した。戦争末期、松風の高硬度な製品に着目した大蔵省は、貨幣の焼造を発注したという。もつとも流通することなく、敗戦になつた。

(美術工ッセイスト、茅ヶ崎市在住)された新聞廣告やチラシ廣告